



アジア太平洋地域で 最大級の規模を誇る 資産運用会社

AMP キャピタル・インベスターズは、アジア太平洋地域で最大級の規模を誇る資産運用会社です。

当社の強みは、幅広い投資サービス、深みのある投資戦略、そして時代の変化を逃さない機動的な運用にあります。これこそが、当社がアジア太平洋地域で最大級の規模を誇る資産運用会社に成長することができた理由です。当社の運用サービスは、不動産、インフラ

ストラクチャー（インフラ）、債券、株式、そしてマルチ・マネージャー、マルチ・アセットなど、幅広いニーズに対応可能です。優れた運用能力と傑出した規模、そして多様かつ豊かな人材を駆使して、アジアのみならずグローバル市場での投資機会をお客様に提供いたします。

お預かり資産970億豪ドル超*という実績は、投資家の皆様からの信頼の証です。

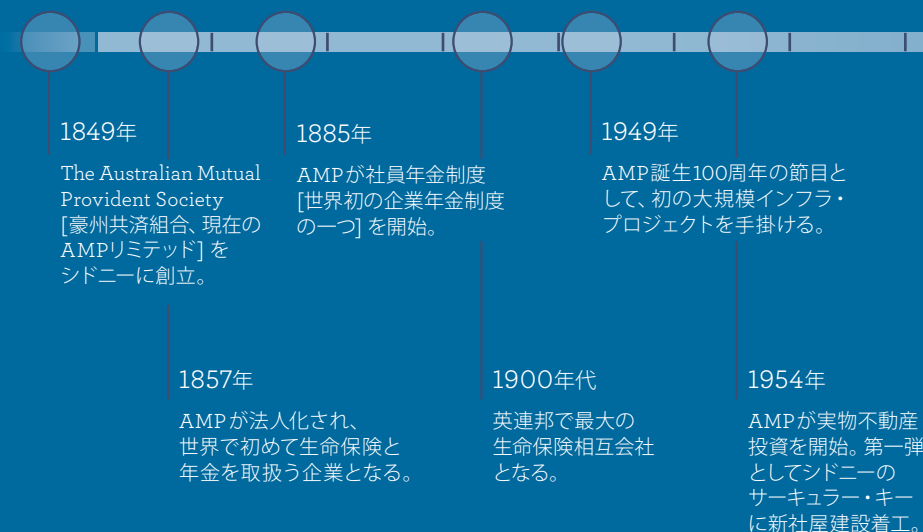


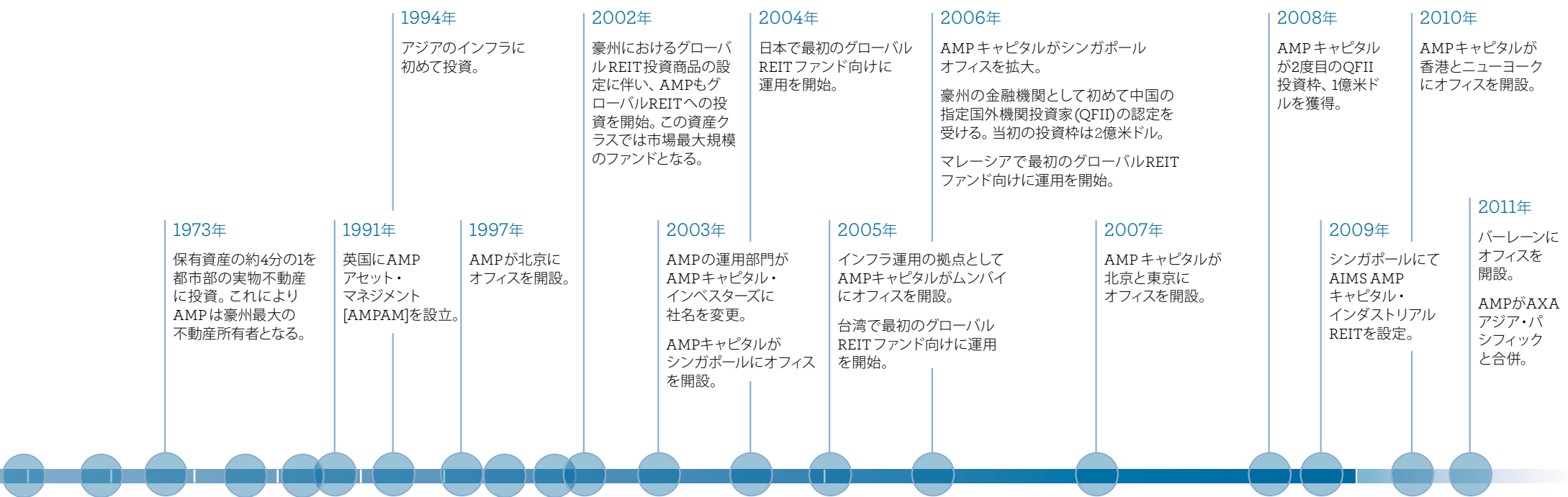


160年を超える歴史と実績

AMP キャピタルが属する AMP グループは、160年以上にわたる伝統を誇ります。また当社自身も、豪州、ニュージーランド、そして世界の投資家の皆様のために、70年以上にわたって投資運用を行ってきました。注目すべきは、当社が金融市場で発揮してきたリーダーシップです。その一例として、1980年代に行ったインフラ投資で、当社はこのセクターに初めて投資を行った企業の一つとなりました。また、当社は豪州で初めて中国 A 株の取引資格を認定された企業であり、日本、韓国、マレーシア、台湾において、他社に先駆けグローバル上場REIT(不動産投資信託)による運用を開始した企業の一つでもあります。これまでも、そしてこれからも、市場の「次」を読むことは当社の重要なテーマのひとつです。

160年にわたる金融サービスの歴史





1962年
AMPのシドニー本社ビル完成。この豪州初となる高層ビルの除幕式には、当時の首相が参加。

1967年
巨額の新規インフラ・プロジェクトへAMPが直接投資。

1985年
国民皆年金を目指し豪州政府が退職給付政策を発表。これを受け、AMPは事業の重点を生命保険から当時新興分野だった年金事業にシフト。

1988年
シドニーのハーバー・トンネルに出資、インフラに対する直接投資を開始。

1994年
アジアのインフラに初めて投資。

1997年
AMPが北京にオフィスを開設。

1998年
AMPリミテッドが豪州とニュージーランドの証券取引所に上場。

1999年
アジア・インフラファンドの運用開始。

2002年
豪州におけるグローバルREIT投資商品の設定に伴い、AMPもグローバルREITへの投資を開始。この資産クラスでは市場最大規模のファンドとなる。

2003年
AMPの運用部門がAMPキャピタル・インベスターズに社名を変更。
AMPキャピタルがシンガポールにオフィスを開設。

2004年
日本で最初のグローバルREITファンド向けに運用を開始。

2005年
台湾で最初のグローバルREITファンド向けに運用を開始。

2006年
AMPキャピタルがシンガポールオフィスを拡大。
豪州の金融機関として初めて中国の指定国外機関投資家(QFII)の認定を受ける。当初の投資枠は2億米ドル。
マレーシアで最初のグローバルREITファンド向けに運用を開始。

2007年
AMPキャピタルが北京と東京にオフィスを開設。

2008年
AMPキャピタルが2度目のQFII投資枠、1億米ドルを獲得。

2009年
シンガポールにてAIMS AMPキャピタル・インダストリアルREITを設定。

2010年
AMPキャピタルが香港とニューヨークにオフィスを開設。

2011年
バーレーンにオフィスを開設。
AMPがAXAアジア・パシフィックと合併。

AMPグループは、家庭に所得補償保険を提供することを目的に、1849年に設立されました。豪州では人口の約6人に1人がAMPグループのお客様です*。ローカルのみならず、多くの海外のお客様にも金融サービスと資産管理サービスを提供するという伝統は、今日も受け継がれています。

ローカルに強み、 グローバルな展開

// 積極的に投資機会を追求し続けます。

アジア太平洋地域で最大規模を誇り、本拠を置く豪州とニュージーランドで圧倒的な優位性を持つことが、AMPキャピタルのグローバル成長の礎となっています。

長年にわたって築いてきた世界の新興国市場での実績をもとに、投資家の皆様にテーラーメイドの投資ソリューションを提供し、幅広い投資機会を創り出してきました。また、世界の資本市場の最先端を行く欧州と北米にも着実に足がかりを設けています。

当社は、オークランド、バーレーン、北京、デリー、香港、ロンドン、ルクセンブルグ、ニューヨーク、シンガポール、シドニー、そして東京にオフィスを開設しています。

グローバルに広がるネットワークを活かし、お客様のニーズにあった投資機会を提供いたします。





*AMP キャピタルの拠点

50年にわたる 不動産投資経験



AMP キャピタルは不動産ファンド運用会社としてアジア第3位¹、グローバルでもトップ15²の規模を誇ります。現在の不動産運用資産は220億豪ドル超*です。

当社が築きあげてきた不動産ファンド運用のプラットフォームは、あらゆる種類やライフサイクルの不動産を網羅しています。



不動産部門では400名以上のスペシャリストを擁し、あらゆる不動産資産を対象に最高のパフォーマンスの実現を目指しています。変化する経済環境のなか、AMPキャピタルは50年にわたって不動産投資運用を行ってきました。

当社における不動産投資の歴史は、豪州初の高層ビルであるAMPビルディングが完成した1960年代初頭に遡ります。シドニー湾を見下ろすこのビルには、現在もAMP本社が入居しています。

不動産ファンド運用における豊富な経験

AMPキャピタルは、あらゆるご要望にお応えする不動産投資ソリューションを提供します。当社のビジネスモデルは、不動産ファンド運用、資金調達、投資家のニーズに合わせた資産やポートフォリオ構築のカスタマイズ、物件開発、リース、不動産・施設管理などといった、不動産投資に関わるあらゆる業務を統合したものです。マクロ調査主導のポートフォリオ運用と、不動産スペシャリストによる投資能力を組み合わせることで、優れた投資リターンを獲得を目指します。これに加え、付加価値を生み出し更に投資パフォーマンスを向上させるため、不動産事業に積極的に関与するアプローチを採用しています。

保有する資産は幅広く、豪州とニュージーランドにおいて最大級のショッピングセンター・ポートフォリオを運用するほか、人気の高いビジネス中心街のオフィスビル・ポートフォリオや、産業用不動産・倉庫といった分野でも多様な資産を有し、テナントと良好な関係を構築しています。

当社が誇る投資規模と海外に広がるネットワークを通して、上場・非上場の優良不動産への投資機会をお客様に提供します。

AMPキャピタルにおける不動産チームの強みは、ストラテジスト・エコノミストや、債券チームからの情報等、全社から集積された様々なリソースから生まれるユニバーサルな視点にあります。また、責任投資の見地から、グローバルなトレンドに対する理解を深め、テナントや投資家の要望への対応を常に強化しています。そして長期的に持続可能なパフォーマンスを生み出しつつ、次世代のニーズに応えることができるように不動産資産をどう進化させられるか、日々リサーチを続けています。

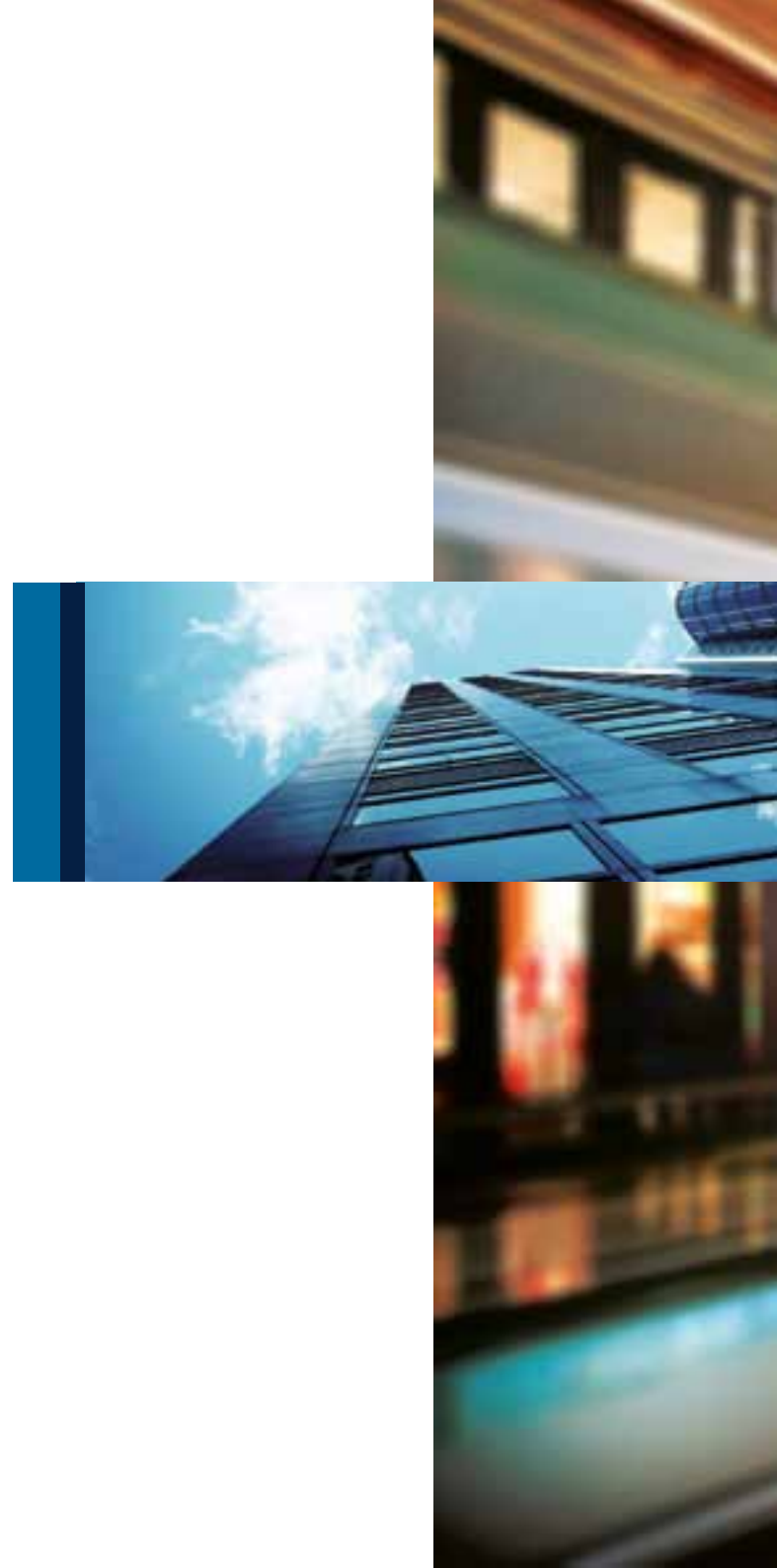
この当社独自の総合的な不動産投資モデルによって、優れた投資パフォーマンスが生み出されるのです。

上場不動産証券投資

AMPキャピタルはアジアでのグローバルREIT投資におけるパイオニアであり、日本、韓国、マレーシア、台湾、そして豪州の各国でいち早くグローバルREITによる運用を手掛けてきました。豪州、アジア、欧州そして北米各地に運用チームを配置することで、世界中の魅力的なREITへの投資機会を提供します^。

当社の投資クオリティをさらに強化するもうひとつの要素は、大規模不動産およびショッピング・センター運用チームから寄せられてくる実物不動産投資関連の市場情報や最先端のアイデアなどです。不動産の実勢価格や空室率、地域ごとのトレンド、そして小売業の市場動向や景況感といった貴重な洞察をここから得ることができます。

シングル・カントリー、地域別、もしくはグローバルなどといった地理的な戦略のみならず、ロング戦略やロング・ショート戦略、お客様のニーズにあわせカスタマイズされたポートフォリオなど、幅広い商品を提供しています。





// 市場の「次」を読むことが、私たちの重要な使命です。



インフラ投資世の界的リーダー



AMPキャピタルは、インフラ投資分野において、20年の実績を持つ世界で最も経験豊富な投資運用会社の一つとして、世界のトップ10²にランキングされています。長期的に安定したリターンを獲得することを目標に、多様なセクター、ライフサイクル、地域に幅広く投資を行います。



当社が初めて行ったインフラ投資は、1988年のシドニー・ハーバー・トンネル(豪州)でした。その後、グローバル規模で拡大し、現在では、インドの有料道路、スペインのパイプライン、英国の鉄道、豪州の空港や有料道路、北米の港湾等、世界中のインフラ資産に対する投資機会を提供しています。

当社の強みは、投資戦略チームやエコノミスト・チームによるリサーチ力、企業ファイナンスアドバイザーチームによる借入れ・借換えに関する専門的な意見、更に不動産運用チーム、債券運用チーム、株式運用

チームの専門知識を駆使し、リターンを最適化する能力です。また、インフラ投資チーム内には環境・社会・ガバナンス (ESG) を専任とするチームを設置し、当社の投資活動における ESG 原則の意識向上を目指しています。

インフラ資産の資金調達を民間資本に頼る政策が世界中でより一般的になるにつれ、当社は、先進国および新興国の両方において優良なインフラ投資機会をお客様に提供する絶好のポジションにあるといえます。

非上場インフラ運用

AMPキャピタルの非上場投資ファンドとテラーメイド・ポートフォリオは、インフラ資産への直接のアクセスを可能にします。インフラ運営企業や開発会社、地元政府や企業パートナーなどを結ぶ当社のネットワークは世界中に広がっており、これを活用することによって、より多くの案件を入手し投資機会を拡大することが可能です。

ポートフォリオ構築に当たっては、当社独自のツールを利用し、リスク・リターンの最適化と投資目的に合致した運用がされるよう設計を行います。また、このツールを使って、各資産の寄与度やポートフォリオ全体のリスクをあらゆる角度からモニターし、かつ管理することが可能です。

投資に際しては、インフラ事業への積極的な関与を基本に、投資先企業の取締役を当社代表者が務めることで、その戦略や運営の方向性を確認します。これにより、価値の付加を確かなものにし、更なるリターンの獲得を目指します。

豪州、中国、インド、英国、欧州、そして北米に配置されたグローバル・チームは、既存の投資を管理するとともに、新たな投資機会を常に追求しています。

インフラ・デット

AMPキャピタルのインフラ・デット（債権）投資チームは、2001年の劣後ローンへの投資を皮切りに、変化する経済環境のなか安定したリターンを生み出してきました。法的・政治的に安定した先進国に焦点を当てつつ、インフラ・デット債務者や引受会社などとの世界的なネットワークを活用することによって、優れたリスク調整後リターンを生み出す資産を見出します。

当社のインフラ・デット投資チームはロンドンとシドニーに拠点を置き、ニューヨークの専門スタッフを含む全社の機能をフルに活用しています。

グローバル上場インフラ証券運用

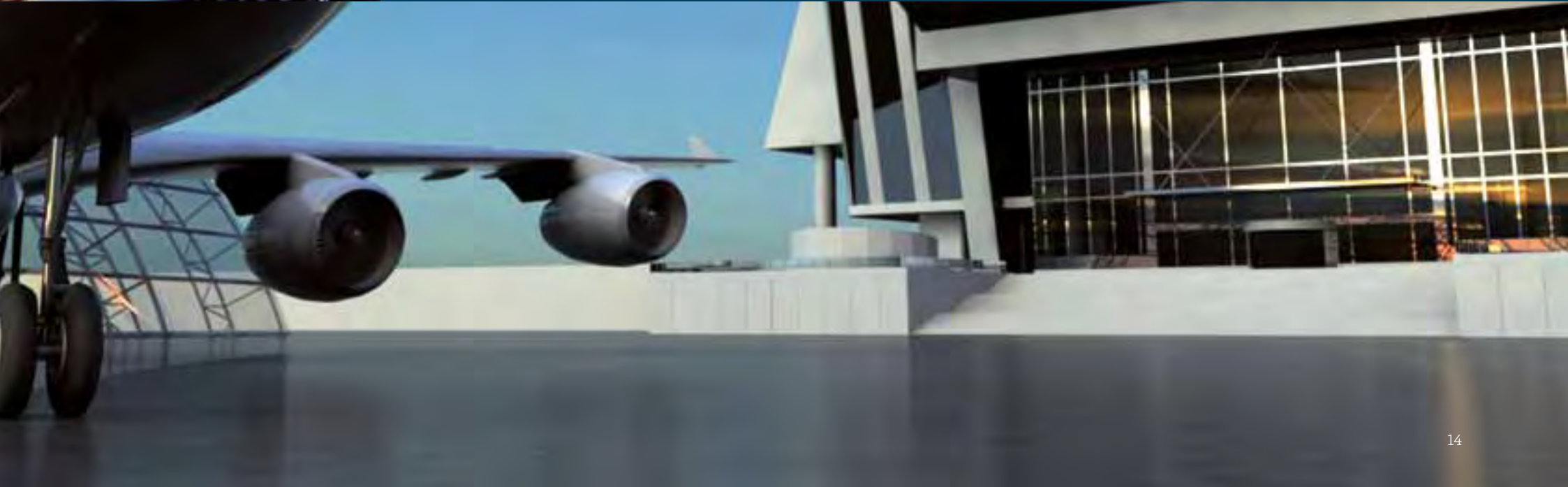
AMPキャピタルでは、グローバル上場インフラ証券への投資も行います。上場インフラ証券の運用体制はグローバルに統合されており、豪州、アジア、欧州および北米に展開しています。常に市場の「次」を読んでいる当社だからこそ、ブラジル、ロシア、インドそして中国などといった新興市場のインフラに対する投資機会も提供することができるのです。

当社のグローバル上場インフラ証券投資プラットフォームには、非上場・上場インフラ証券投資で培った経験のほか、価格評価、取引条件、ストラクチャリング手法などに関する市場インテリジェンスが活かされています。シングル・カントリー、地域別、もしくはグローバルなどといった地理的な戦略のみならず、ロング戦略やロング・ショート戦略など、様々な上場インフラ証券ポートフォリオを提供します。





// 断片的ではなく、総合的な価値をお客様に届けます。



債券・株式の アクティブ運用



債券および株式投資において、AMPキャピタルではアクティブ運用アプローチを採用しています。その基礎となるのが、当社が培ってきた投資に関する洞察力と、投資先企業に対する深い知識です。

AMPグループの債券および株式投資の歴史は70年以上に及びます。株式と債券の運用資産は、現在約520億豪ドル*です。



当社の運用チームは、それぞれファンドの投資目的に沿った最良の銘柄選択を行います。当社は、それを支える定量分析システムとリスク管理システムの充実を経営の最重要課題の一つと考え、投資先企業に関連する膨大な情報の全てをもれなく活用できるよう、システム体制を整えています。

当社の運用の強みは、その規模と幅広いネットワーク、そして様々な角度からの分析能力です。債券・株式

運用チームのスペシャリストは、個別銘柄や市場全体についての知識を更に深めるために、当社の他部門から得たリサーチおよび市場分析を比較・共有しています。これを更に強化するのが、内外から高い評価を得ているエコノミスト・チームが提供するマクロ経済に関する分析結果や、インフラおよび不動産運用チームとの情報交換です。このような有機的な協力体制こそが、当社グループが掲げる「Think Wide」の理念を可能にする源泉です。

債券運用

豪州およびニュージーランド地域で最大級の債券運用会社であるAMPキャピタルは、市場機会を最大限活用できるよう設計された債券アクティブ運用を行っています。運用手法には、クレジット分析、デュレーション管理、イールドカーブのポジショニング、およびアービトラージといった多くの債券投資戦略が含まれます。現在の債券運用資産は、320億豪ドル超*に上ります。

当社の債券運用戦略は、国内外の債券市場を対象としたアクティブなコア運用からクレジット戦略まで、幅広く網羅しています。また、ファンド（集団投資スキーム）に加えて、個々のお客様のリスクおよびリターンに対するニーズに合わせ、ソブリン債やインフレ連動債からアクティブなクレジット戦略まで、あらゆる債券関連商品を組み合わせたポートフォリオ戦略のカスタマイズも行っています。

株式アクティブ運用

当社の株式運用は、アジア、豪州、そしてニュージーランドを対象としたアクティブ運用が中心です。国内株投資には、マルチ戦略、グロース戦略、サステイナブル・アルファ投資戦略などがあります。現在の運用資産は、180億豪ドル以上*となっています。

マルチ戦略には、ロング・オンリー、ロング・ショート、アクティブ・クオンツやエンハンスト・インデックスといった戦略など、バリューとモメンタムスタイルを重視した体系的な銘柄選択アプローチが含まれます。ポートフォリオ全体のリターンを強化するために、銘柄選択には統計的リスク評価アプローチも採用しています。

アジア株で焦点を当てているのは、中国やインドをはじめとする世界的にも成長著しい新興国市場の企業です。当社は常に、市場の「先」を読みます。その一例として、当社は、中国A株市場に投資できる「指定国外機関投資家（QFII）」の認定を受けた豪州初の企業となりました。豪州、ニュージーランド、そしてアジア各国の運用拠点を通して、香港、ジャカルタ、ムンバイ、ソウル、上海、深圳、シンガポール、そして台北といった、世界でいま最も躍動的な株式市場に上場しているアジアの新興企業に投資するチャンスをお客様に提供します。





// いかなる地域でも、常に最高の投資機会を探し求めます。



マルチ・セクターの専門知識と 投資戦略のカスタマイズ



AMP キャピタルのマルチ・アセット部門では、ファンド（集団投資スキーム）のみならず、お客様のニーズに合わせた投資ソリューションのカスタマイズも提供します。

分散型およびマルチ・マネージャー型商品、およびオルタナティブ資産や仕組型の商品といった多岐にわたるスペシャリスト型ポートフォリオを運用し、運用資産額は530億豪ドル超*#に上ります。



マルチ・アセット部門は、当社が誇るスペシャリスト部門の一つです。同部門に所属する運用スペシャリストの投資経験は平均16年と長く、コンサルティング、運用会社リサーチ、アクチュアリー、リスク・マネジメント、クオンツなど、その経歴も様々です。彼らの幅広く多様な経験を活かし、同部門は様々な資産クラスやセクターをカバーしています。

近年、長期的なビジネス・パートナーを求めるお客様が増えています。

同部門のコンセプトは、お客様それぞれのニーズに合ったソリューションをテーラーメイドでお届けするために、双方向的な投資関係を構築するということです。マルチ・アセット部門に対するお客様のニーズの一例は、次の通りです。

- 運用会社の規模とネットワークの活用
- 独自の分散型ポートフォリオの構築
- ニッチ分野における自分自身の専門知識の共有
- アセット・アロケーション・オーバーレイの活用

多様な投資オプション

AMP キャピタルはマルチ・マネージャー型と分散型の投資を得意としており、シングル・セクター戦略とマルチ・セクター戦略の両方で、組入れ銘柄をグローバルに分散することが可能です。

当社の分散型運用の歴史は1975年に始まり、以降、様々な種類の分散型ファンドを運用してきました。当社の分散型ファンドには、当社独自の先見的なアセット・アロケーション・プロセスのみならず、不動産・インフラ・債券などの運用能力のエッセンスが詰まっています。分散型投資の現在の運用資産は、310億豪ドル超*を誇っています。

当社のマルチ・マネージャー型運用を利用すると、株式、債券、不動産などといったコア資産のみならず、非流動性オルタナティブ資産、インフレ連動債券やハイイールド債券などといったニッチ資産セクターへも幅広くアクセスすることができます。マネージャー選定に当たっては、スペシャリストの助言を参考に、各セクターについて世界中から最も優れたマネージャーを特定し、お客様それぞれが求めるリスク・リターンに合致した投資成果を獲得するポートフォリオ作りを目指しています。

豪州とニュージーランドにおいて最大の責任投資 (Responsible Investment) 運用会社である当社は、この地位を2007年以降維持³してきました。現在の責任投資運用額は10億豪ドル超*であり、持続可能な投資、環境、社会、ガバナンスといった分野に重点を置いています。

個々のニーズに合致したソリューションをテーラーメイド

お客様の投資目的がいかなるものであっても、当社の専任チームが「Think Wide」の理念のもと、それを実現するソリューションを見つけ出します。当社マルチ・アセット部門が、その豊富な経験と実績をもとに、お客様それぞれの投資目標を達成するためのソリューションを柔軟に編み出します。

このテーラーメイド・ソリューションは、お客様のニーズによってその内容は異なり、マルチ・アセット部門のみならず全社的な能力をフルに活用したものになります。これこそ、「Think Wide」の意味するところなのです。ソリューションの中には、拡大しつつある定年後市場に対する戦略や、ダウンサイド・リスクを軽減する手法、流動性の少ないオルタナティブ資産の組入れやエクスポージャー管理、そしてアセット・アロケーションに対するオーバーレイなどが含まれます。これらソリューションの価値を一層強化するのが、当社の規模、市場でのポジション、そしてグローバル展開です。





// いかなる投資目的でも、AMP キャピタルの専任チームが
実現する方法を見つけ出します。

責任ある投資決定を通じて、 お客様の運用資産を守る



企業の社会的責任に関して言えば、「Think Wide」はすなわち、「最高水準の設定」を意味します。企業の社会的責任と持続可能性に対する当社のアプローチは、投資リスクを軽減するだけでなく、お客様の大切な資産がしっかりとした理念のもとに投資されていることをお約束するものです。



コーポレート・ガバナンスに対するコミットメント

企業に対する信頼は、企業の中から築かれていくべきであると、AMPキャピタルは考えます。なぜなら、当社が行うあらゆる意思決定が、お客様の資産に影響を及ぼすからです。そのため当社では、お客様はもとより、フィナンシャル・アドバイザー、社員、株主、ひいては地元社会や環境といった、当社の利害関係者すべてに対する責任を真剣に捉えています。そのため、業界最高水準のコーポレート・ガバナンスを適用し、定期的にその実行状況を見直すことで、責任ある企業市民としての役割を果たすことに努めています。

コーポレート・ガバナンスの観点から、十分吟味された情報に基づく意思決定と行動であることを、チームワークと蓄積された知識を駆使して確認することが大切であると、当社は考えます。

未来の世代のための「Think Wide」

AMPキャピタルが責任投資を推進している理由は、お客様からお預かりした資産の価値を長期的に成長させる上で、それが経済的に合理的な方法であるからです。

当社は国連責任投資原則 (UNPRI) に調印しています。この原則は、機関投資家が投資の意思決定と所有慣習において、環境・社会・ガバナンスに対する配慮を行う国際的枠組みを示すものです。

一例として、高い環境スコアを持つ新築ビル (NABERS⁴およびグリーン・スター⁵に適合) の建築や、既存ビルを現在の環境・持続可能性基準に適合させる改築など、持続可能な投資・管理の実践における幅広い経験を当社の不動産部門は培ってきました。

お問い合わせ先

豪州

シドニー

AMP Centre
50 Bridge Street
Sydney NSW 2000
T: +61 2 9257 5000
F: +61 2 9257 1234

メルボルン

Level 29
35 Collins Street
Melbourne VIC 3000
T: 1300 139 267

ブリスベン

Ground Floor
192 Ann Street
Brisbane QLD 4000
T: +61 7 3226 1026
F: +61 7 3221 7752

アデレード

Level 1
185 Fullarton Street
Dulwich SA 5065
T: +61 8 8333 8278
F: +61 8 8333 8516

パース

Level 1
16 Altona Street
West Perth WA 6005
T: +61 8 8333 8278
F: +61 8 8333 8516

ニュージーランド

オークランド

Level 7
21 Queen Street
Auckland 1010
T: +64 9 927 1600
F: +64 9 927 1615

ウェリントン

Ground Floor
PWC Tower
113-119 The Terrace
Wellington 6140
T: +64 4 494 2200
F: +64 4 494 2123

アジア

中国

Suite 1726, Tower 2
Bright China Chang An Building
No. 7 Jian Guo Men Nei Avenue
Beijing 100005
T: +86 10 6510 2125
F: +86 10 6517 1030

#1901 Oriental Plaza Tower E2
1 East Chang An Avenue
Dong Cheng District
Beijing 100738
T: +86 10 8520 0133
F: +86 10 8520 0132

香港

Level 23
One Island East
18 Westlands Road
Quarry Bay
T: +852 3750 7601
F: +852 3750 7602

インド

DLF Corporate Park
502/503, 5th Floor
Block 4A, M.G. Road
Gurgaon 122 002
T: +91 12 4672 6188
F: +91 12 4421 8818

日本

〒100-6332
東京都千代田区丸の内2-4-1
丸の内ビルディング32階
T: +81 3 3212 7170
F: +81 3 3212 7191

〒100-0004
東京都千代田区大手町1-5-1
大手町ファーストスクエア・
T: +81 3 5219 1328
F: +81 3 5219 1448

シンガポール

80 Raffles Place
#18-20, UOB Plaza 2
Singapore 048624
T: +65 6511 1850
F: +65 6511 1899

欧州

英国

4th Floor
Berkeley Square House
Berkeley Square
London W1J 6BX
T: +44 0 20 7659 9252
F: +44 0 20 7659 9251

ルクセンブルグ

18-20 Rue Edward Steichen
L-2540 Luxembourg
T: +352 27 84 80 35
F: +352 27 84 80 34

北米

ニューヨーク

777 Third Avenue
Suite 19C
New York 10017
T: +1 212 223 7600

中東

バーレーン

Bahrain World Trade Centre
East Tower
6th Floor, Suite 634
Manama, Kingdom of Bahrain
T: +973 1715 1627

海外クライアントサービス:

internationalcs@ampcapital.com

www.ampcapital.com

* 2011年6月30日時点。2011年6月30日時点での為替レートは、1豪ドル=1.07米ドル。

^ AMP キャピタル・インベスターズとその関係会社であるAMPキャピタル・ブルックフィールドは共同でAMPキャピタルのグローバル上場不動産証券およびインフラ証券への投資を行っています。

運用資産額は、その他の当社運用アセットクラスに属する原資産を含みます。

¹ 2010年 ANREVリサーチ、2010年10月アジア・プロパティ/ANREVファンド・マネジャー・アジア・サーベイ。

² タワーズ・ワトソン、2011年グローバル・オルタナティブ・サーベイ。

³ 豪州責任投資協会 (RIAA)、2010年豪州およびニュージーランドにおける責任投資ベンチマーク・レポート。

⁴ NABERSは、ビルが環境に与える負荷を測定する実績基準の格付けシステムです。

⁵ グリーン・スター格付けプロセスは、ビルが環境に与える負荷の種類や革新基準を評価するものです。

この文書およびその内容(以下「当文書」)はAMPキャピタル・インベスターズ・リミテッド(オーストラリアにおける登録番号: ABN59 001777 591、AFSL232497。以下「AMPキャピタル・インベスターズ」)およびその関連会社が、当文書内で言及された投資能力(以下「投資能力」)についての一般的な情報を提供する目的で作成したものであり、金融商品に関する法定開示文書、目論見書、私募有価証券に関する覚書 (Private Placement Memorandum) またはその他の関連文書と合わせて全体として読むことにより、その目的を果たすものであります。当文書は、いかなる国においても関連する法令諸規則に反するような配布または使用を目的としたものではなく、投資能力に関して、投資を推奨、提案、勧誘するものではありません。投資をお考えの方は、特定の国(本文書を受領した場所を含む)における法令諸規則(政府その他の機関による必要な承認あるいは諸手続きを含む)およびそれらを遵守しなかった場合の結果に関して、ご自身で専門家にご相談あるいはご相談下さい。当文書の作成に当たっては細心の注意を払っておりますが、法律で義務付けられている場合を除き、AMPキャピタル・インベスターズおよびその関連会社は、見通しを含む情報の正確性や完全性に関しなんら保証するものではなく、その結果として生じたいかなる損失・損害に対しても責任を負うものではありません。当文書は必ずしも完全なものではなく、投資をお考えの方が重要であると考えられる全ての情報を必ずしも含んでいるわけではありません。また特定の個人の目的、財務状況またはニーズを勘案して作成されたものでもありません。当文書は、これだけに依拠して投資決定をするためのものではありません。投資判断の際には、当文書の適切性をご自身でご判断いただき、ご自身の目的、財務状況およびニーズを考慮に入れて、専門家に相談下さい。過去の実績は、必ずしも将来の実績について信頼性のある指標ではなく、AMPキャピタル・インベスターズおよびその関連会社は、投資能力が投資家の目的、目標リターン、もしくは投資収益率を達成すると確約するものでも保証するものでもありません。本文書を、AMPキャピタル・インベスターズの書面による承諾なく、(全体としても部分的にも)複製することや再配布すること、またはいかなる形式においても第三者に提供することを禁じます。当文書は、別途明記されていない限り、発行日において有効なものであり、後日入手可能となった情報や発行日以降の状況または発生した変化を反映するよう、更新や改訂されることはありません。当文書を受領することにより、上記の制限と諸条件に従うことに同意したとみなされます。



AMPCAPITAL 

The logo for AMPCAPITAL, featuring the company name in a white, serif, all-caps font. To the right of the text is a stylized logo icon composed of multiple thin, white, curved lines radiating from a central point, resembling a starburst or a flower.